

売買川分水路

売買川分水路は宅地化、都市化が進んでいる下流域での洪水を防ぐために平成9年から工事が始まりました。豊西地区から分流し、約3kmにわたって掘削工事が行われ、平成15年に完成しました。



帯広川分水路（新帯広川）

帯広川分水路（新帯広川）は、帯広市街地への洪水流量を減少させるために昭和45年から工事が始まりました。西帯広地区から分流し、十勝川まで約2kmにわたって掘削工事が行われ、平成6年に完成しました。



帯広川分水路 完成後（平成7年）

帯広川分水路の分流堰

帯広川と新帯広川の分流施設は、当初、模型実験などを踏まえ「鋭角分流堰」が施工されていました。その後、河動堰（ローラーゲート+転倒ゲート）が施工され、現在に至ります。



旧分流工（鋭角分流堰）



現分流堰（河動分流堰）



現分流堰の上下流には、「止水域」が形成されており、白鳥やカモなどの水鳥が飛来します。

分水路の通常時・洪水時の流れ

売買川の分水路は、このように水が流れます。

